

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 2 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○地域活動支援事業について（公開）

- ・高土区の提案状況について
- ・提案事業に関する概要説明及びヒアリング

3 開催日時

平成 29 年 5 月 16 日（火）午後 6 時から午後 10 時まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、小林トシ子、
建入一夫、中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男
横山とも子
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認者：青木副会長

3 議題「地域活動支援事業について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・提案書、資料No.1、担当課からの所見一覧、運用マニュアルより抜粋により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは、提案事業に関するヒアリングを行う。今回提案された 14 件の事業について、委員の認識をより深めるとともに、疑問点等を解消するため、提案者から事業概要について説明をいただいた後、質疑応答を行う。時間配分については、1 件当たりの説明は事務局からの概要説明を含め 5 分、質疑 5 分、合計 10 分で行う。それぞれ終了の 1 分前に事務局からベルでお知らせするので、ご協力をお願いします。

事務局に概要説明を求める。

【田中主事】

「土-9 高齢者の見守り安否の確認・座談会・会食会事業」について、概要説明

【土-9 提案者】

- ・事業概要を説明

【飯野会長】

「土-9」について質疑を求める。

【金子委員】

構成員が 430 人ということで、多くの人に関わっていると見受けられるが、昨年度の実績等から参加者はどのように推移しているか。

【土-9 提案者】

老人なので年々減っているが、昨年度は 10 人ほど出席されて、お世話する方も 12 人ほどでしているので 25 人から 30 人程度の参加者だ。

【金子委員】

その会ごとに 25 人くらいということで理解してよいか。

【士-9 提案者】

そうである。

【飯野会長】

構成員については、高士区全員となっているのでご理解いただきたい。他に質問等がなければ終了するかどうか。

(「はい」の声)

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-2 高士地区の安全安心対策事業」について概要説明

【士-2 提案者】

- ・事業概要について説明

【飯野会長】

「士-2」について質疑を求める。

【横川委員】

ガスバーナーは昨年度も購入されているが、不足しているということで提案されているのか。

【士-2 提案者】

初年度にご飯を焚く釜を2個用意したのだが、ガスバーナーは1台だった。昨年度に足りない分を1台購入したのだが、寸胴鍋も購入させていただいた。ところが、鍋を使うガスバーナーがないということで、昨年度にガスバーナーを2台申請したのだが、予算上購入できなかった。現在、同時に作業ができないため、もう1台設置したいということで申請した。

【横川委員】

防災テントについて、幕を張るものだと思うが、体育協会や小学校などもテントを所有しているため、それらを活用する考えはないか。

【士-2 提案者】

体育協会には屋根だけあるテントは数があることは把握している。今回は、風や雨

を防げるテントが必要だと思う。非常食や書類等の保管や防寒を考えると、必要だという観点で申請している。

【飯野正美委員】

見積もりの中で「災害救助用毛布」とあるが、寒さをしのぐための普通の毛布なのか。

【士-2 提案者】

普通の毛布よりも丈夫であり、簡易担架も作れる。圧縮することで薄型になり、場所も取らないようなものである。

【飯野会長】

他に質疑はあるか。

(発言なし)

これで終了してよいか。

(「はい」の声)

— 提案者退席 —

【飯野会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

・「士-1 高土地域の歴史調査・集積事業」について概要説明

【士-1 提案者】

・事業概要について説明

【飯野会長】

「士-1」について質疑を求める。

【建入委員】

小学生を対象に講義等を開催しているということだったが、テーマなど、どのような内容を学校でお話しているのか教えていただきたい。

【士-1 提案者】

色々なテーマはあるが、最初は川上善兵衛の学習から始まった。善兵衛の心意気をどう伝えるかが大変だが、資料集めを行い、分析することで、子どもたちに分かりやすく話をしている。その中で子どもたちの関心は、農業関係である。農業を家ではや

っているが、全然お手伝いをする機会がない。そのため5年生になると、家に来て昔の農具を実物と使い方を見ている。3・4年生については、写真を持っていき、いろいろな田植えの仕方がある等、写真やパネルを使って説明をしている。

【日向委員】

展示会だが、昨年度はどの程度の来場者だったのか。

【土-1 提案者】

昨年度は約40から50人だった。

【金子委員】

昨年度、補助事業で冊子の製本をされたが、今回の資料作成代の「コピー代」は、何のコピー代金か。

【土-1 提案者】

資料作成代のコピー代として上げさせていただいたのは、まだまだ眠っている資料等がかなりあり、各町内の町内会長さん等にお問い合わせして、蔵や家に眠っている古い資料等があれば、合意を得てコピーし、収集させていただく。かなり古いものもあるので、長く保存できるよう綺麗にコピーし、原本は所蔵者にお返しする。

【飯野会長】

それでは時間になったので終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「土-8『男の料理教室』開催事業」について概要説明

【土-8 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「土-8」について質疑を求める。

【横川委員】

料理の腕をあげて、それを家庭に持って帰るだけではもったいない。イベント等の人が集まったときに、高新会の皆さんが料理を作ってふるまう部分があれば取組が広

がっていくのではないかと思う。できれば大勢の人に楽しんでいただける企画もしていただければよいと思う。

【金子委員】

昨年度よりも、事業費が2万円上がっているが、構成員が増えたからなのか。

【士-8 提案者】

一番大きいのが保険料で、その次に講師の謝金を上げさせていただいた。保険料については保険料率の改定があったため、保険料が上がっている。

【金子委員】

昨年度も保険料は15人分だったのか。

【士-8 提案者】

昨年度は15人分だったが、実績は13人分である。

【横山委員】

一人暮らしの男性や、ご家庭の中でも男性が料理をされるのは、非常に良いと思う。昨年度の結果を見ると、少ないときで8人、多いときで11人という実績だが、繰り返し同じ方が来られることが多いのか。

【士-8 提案者】

継続していただける方のほうが多い。

【横山委員】

今回、保険料が15人分ということで、今年度はもう少し人数を増やしたいということだが、どのように周知をしているのか。

【士-8 提案者】

チラシや知り合いへ声かけをしているが、チラシの宣伝効果が一番大きいと思う。

【横山委員】

昨年度のチラシは公民館で印刷やコピーしているのか。

【士-8 提案者】

そうである。

【横山委員】

量的には多くないのだが、チラシ、レシピの作成、写真現像等で1万円の予算が組まれているが、事務費は上手く使えば、もう少し削減できるのではないかと思う。写真現像も自らで印刷したりする方法もある。チラシも回覧版等で回すだけでなく、他

のものとタイアップして楽しいイベントとして興味をもたせれば、より多くの参加者が集まると思うので、そのような周知をしていただけたらよいと思う。

【土-8 提案者】

分かった。実は事務費は昨年度と比べて、少し上げさせていただいた。チラシは回覧板が精いっぱいのところなのだが、もっと目立つような周知を今年度は計画しているので、予算をアップさせた。

【飯野正美委員】

周知をしてたくさんの人に参加して欲しいとのことだが、1回の料理の人数が15人というのは、保険の関係なのか。

【土-8 提案者】

保険と調理場の広さの関係で、1テーブル5人で3テーブルあるので15人としている。

【飯野正美委員】

実際に初めての方は、どの程度来られているのか。

【土-8 提案者】

私は10月から入っているが、12月に来られた方がいた。

【飯野会長】

他になければ、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「土-7『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング」について概要説明

【土-7 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「土-7」について質疑を求める。

私から質問だが、事業の実施期間は平成28年になっているが、どうなのか。

【士-7 提案者】

平成 29 年の 7 月から平成 30 年の 2 月までである。

年月が昨年度のままとなっているので修正してほしい。

【飯野会長】

他に質疑を求める。

(発言なし)

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

・「士-4 ふるさと高士まつり事業」について概要説明

【士-4 提案者】

・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-4」について質疑を求める。

【建入委員】

昨年の来客数が 650 人で今年度が 750 人を見込んでいるが、見込み数が 100 人増加している理由を具体的に教えていただきたい。

【士-4 提案者】

今までは実行委員会の中で、各団体の役員等々の皆さんの集まりの企画だった。今回は若い世代の方に数人加わっていただいたので、色々な意見を集約しながら計画を立てていきたいと思っているのが 1 つ。PR 活動で、昨年度は各町内にパンフレットとか口コミで周知したが、有線ページング放送の活用もしたいと思う。小中学校からお願いや、各組織、各町内に PR 活動をやっていけば多くの皆さんに来ていただけると思う。

【横川委員】

支出の部分で「謝礼」があるが、これは金額を含め、全て決まっているということか。

【士-4 提案者】

毎年度この金額で渡しているの、これより下げるのは厳しいと思っている。

【横川委員】

今年度はこの中で、書いてあるとおりのことをやるということか。

【士-4 提案者】

中身は若干違う部分はあるかと思うが、各団体からは、このように対応していただけないかと思っている。各団体も日頃頑張っている成果をここで発表するというかたちもあるので、謝礼を削ることは難しい。

【飯野会長】

2年ほど前にロゴマークを作られたと思うが、利活用として、チラシの中に入れるなど考えていただきたい。せっかく公募して作ったものが、それだけで終わってしまう。

【士-4 提案者】

昨年度、のぼり旗に3つのロゴと「ふるさと高士」を入れて高士のPRとして作り、会場等に設置したところ、雰囲気盛り上げた。アンケートの中で、のぼり旗を各町内で使っていただけないかという質問に、約70パーセントが機会があれば活用したいという回答があったので、活用していただければと思う。貴重な意見に感謝する。

【飯野会長】

他に意見がなければ終了するがよいか。

(「はい」の声)

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-3 高士地区お買い物ツアー事業」について概要説明

【士-3 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-3」について質疑を求める。

【建入委員】

大変な活動だと思う。参加者も少なくなっているなかで、サポートする方の大変さが身に染みてくることかと思う。質問ではないのだが、頑張っていてほしい。

【飯野会長】

他に質疑を求める。

(発言なし)

これでヒアリングを終了する。

【飯野会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

・「士-5 つないでひろげたい岩の原小唄・八社五社事業」について概要説明

【士-5 提案者】

・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-5」について質疑を求める。

【横川委員】

作成するものは小学生用ということか。

【士-5 提案者】

小学生用として作成する。

【横川委員】

それは婦人会の方も着るのか。

【士-5 提案者】

平成 24 年度の地域活動支援事業で、婦人会用に「岩の原小唄」の衣装と子どもたちの法被を作らせてもらったため、婦人会の衣装は確保できているが、子どもたちの法被はサイズが合わなくなってしまった。

【金子委員】

そのデザインは、「岩の原小唄」と「八社五社」の共通のデザインということで、何

か謂われがあるのか。平成24年度のときは、役員が志願して前会長とともに作らせていただいた報告になっている。値段的なことだったと思うが。

【士-5 提案者】

金額面でデザインを決めていたと思う。

【小林委員】

法被に「岩の原」とか「八社五社」の文字を入れるともっと高くなるのか。

【士-5 提案者】

文字を入れると金額が上がると聞いている。

【小林委員】

サイズが小さいものは保育園とかの園児が着て「岩の原小唄」を踊ったらよいと思うがどうか。

【士-5 提案者】

幼児サイズでも大きいものが2枚しかない。

【小林委員】

同じものが手に入るのか。

【士-5 提案者】

身丈80というのが15枚。運動会には間に合わないが、敬老会と高士まつりには、踊るようにできると思う。

【飯野正美委員】

見積もりを見ると、小川呉服店となっているが、他で検討されたことはないのか。

【士-5 提案者】

前は別の呉服店で作ったと聞いたのだが、今回はサイズが大きいのであちこち回ってみた。結果的に小川呉服店が同じデザインのものを用意できたことから、見積もり業者として選定したもの。

【飯野会長】

時間になったので、これでヒアリングは終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-11『地域に元気を！』雄志太鼓活動支援事業」について概要説明

【士-11 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-11」について質疑を求める。

【金子委員】

昨年度もそうだが、補助希望額が3区で3分の1ずつになっているが、生徒数で按分しなかった理由を教えてください。

【士-11 提案者】

生徒数で按分にできなかった理由は、地域のイベントに出場する回数である。子どもの人数イコール部の活動ではない。高士、諏訪は子どもの数が津有に比べて少ないが、子どもの人数で演奏しに行くわけではなく、声がかかれば演奏しに行く。どんどん活動を活発にするためには、3分割が一番良いのではないかと組織内で協議した。高士区だと大きなイベントは3回。今年度の子どもたちの割合は諏訪が多いが、子どもたちの割合だけで割り切れないものがあるというのが理由である。

【建入委員】

備品保管場所は雄志中学校の資料室となっていて、購入した備品は学校備品と明確に区分けし等々と書かれているが、この楽器には名前等を付けて管理されているのか。

【士-11 提案者】

楽器には基本的に名前を入れていない。法被等は過去に購入した中では、衣装ケースに組織名を書いて保管している。

【建入委員】

備品の区分けを明確にとあるが、置いてある場所が違うのか、どういうふうな区分けなのか。

【士-11 提案者】

学校備品とは別に資料室の一角をお借りしているので、そこにまとめて置いてある状態である。

【建入委員】

担当課所見で、明確に名前を記してとあるが、名前は書いてないと仰っていたが、

どのように伝えるのか。

【飯野会長】

採択のときに、名前を明記するように伝える。

【建入委員】

事実、過去のものが書いてないということだが。

【飯野会長】

今あるものが学校のものなのか、クラブのものなのか、また津有中学校の引き継ぎで誰のものかも分からないということ話だったので、雄志中学校と提案者で協議していく中で対応していただく。

【建入委員】

分かった。

【横川委員】

消耗が激しいという話だが、新品で購入した場合の耐久年数はどれくらいか。また、皮の張替えだけでよいのか、全体が駄目になってしまうのか。

【士-11 提案者】

今回は木の樽で、表面が大分凹んで半分くらいに削られてしまっている。また5台申請した理由は、子どもたちが演奏できる楽器が足りないからである。直せるものは直して使うが、楽器が足りない状態でフルメンバーで参加した場合に、大体1年生になってしまうが、隣で見ているという状態だった。また、法被も以前35着作らせていただいたが、部員が増加したことで足りなくなったので、10着追加で同じものを作りたいと考えた。今後のメンテナンスに関しては、程度にもよるが、消耗している部分に関しては自主財源も含み、修理にかけていきたいと思っている。

【中嶋委員】

これは、部活動とは別での活動なのか。

【士-11 提案者】

部活動とは別の活動だ。太鼓部に所属している子どもは、大体他の部活動に入っている。太鼓部というのは、雄志中学校独自のもので、他に22ある中学校の中で唯一だと思う。組織を発足して8年過ぎたが、発足当時から支援してきた。この地域の独自性をもっと伸ばしたい、子どもたちに継いでいってもらいたいという思いから始まっている。

【中嶋委員】

今、部員の増加によって楽器が足りない話だが、それは現在の話であり、これから生徒数が減っていくにあたって、どのように活動していくかお聞かせ願いたい。

【士-11 提案者】

生徒数減少の問題は少子化であり、これから先、部員がもっと増えるかもしれない。子どもの全体数と今回の件は直接関係ない。

【金子委員】

以前はどのように太鼓を購入していたのか。

【士-11 提案者】

私がこの組織に参加して9年目になるが、今から40年前、「^{こうなん}鴻南太鼓」というものがあった。高士中学校と津有中学校の合併前に津有中学校で独自で「^{こうなん}鴻南太鼓」が行われていた。その頃使っていた楽器が皮等の張替のメンテナンスをしたが、今もそのまま使えている。その流れで、統合して雄志中学校になったときも、そのままの楽器を継続して使っている。ただし、のぼり旗や楽器の台数はその後追加されている。寄付であったり保護者から集めたものだったり、地域からいただいたもので、追加されてきた歴史がある。

【飯野会長】

高士、津有、諏訪からの支援を計画されているが、どこかの地区で不採択になった場合、または減額になった場合の対応はどのようにするのか。

【士-11 提案者】

できれば満額いただきたいが、減額になった場合は、事業を縮小するかたちになると思う。組織に持ち帰り、協議して考えていく。

【飯野会長】

時間になったので、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-10 雄志中学校グラウンド整備事業」について概要説明

【士-10 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-10」について質疑を求める。

【横川委員】

雄志中学校のグラウンドを使わせてもらったので、この状況は知っている。ただ、野球部保護者会が申請したのは何か意味があるのか。

【士-10 提案者】

ベンチは部費では購入しておらず、保護者会で手作りしたり、購入をしていた。野球道具は学校で購入できるが、ベンチ関係は購入できないというので、保護者会から提案するという話だ。

【横川委員】

もし事業が採択された場合は、古いベンチは撤去するのか。

【士-10 提案者】

古いベンチを撤去し、地盤が悪いので、整地してから設置をする。

【建入委員】

市として、これは学校の用具としての考えはないのか。所見の方には何も書いていないが。

【田中主事】

所見に記載がないとおり、学校で整備するものではないという判断である。

【士-10 提案者】

バックネットも老朽化しているが、昔保護者会で作成したものであり、水道を引いたのも保護者会と聞いている。

【横山委員】

写真を拝見すると老朽化しているベンチの他に、後ろに木のベンチと右側の下のところに一般のよくあるベンチがあるが、これだけでは賄いきれないということなのか。

【士-10 提案者】

見て分かるように、飲み物等をベンチにのせられないということで、後ろのベンチに置くか、地べたに置く状況になっている。

【横山委員】

撤去費用は考えていないのか。

【士-10 提案者】

撤去費用は考えていないが、それは保護者会で支出が可能である。

【金子委員】

8 台にした理由を教えてください。

【士-10 提案者】

1 塁側と 3 塁側に 4 台ずつ設置したい。また、保護者が野球観戦に来るので、小さいお子さんもいるため、ベンチを観客席まで移動して座ってもらうという案もある。

【飯野正美委員】

なぜ、野球部の備品を購入するのに、地域活動支援事業に申し込もうと思ったのか。

【士-10 提案者】

上雲寺小学校で野球道具の倉庫、野球道具等を地域活動支援事業で購入させていただいた。子どもたちも野球が強くなってきており、親の背中を見てやる気を起こすというような格好もあるので、提案させてもらった。

【飯野会長】

先ほどの青少年育成会議でもそうだが、高土区、津有区、諏訪区での共通した提案だが 3 区で足並みをそろえて採択できるかは未定だ。どこかの区で不採択や減額になったときには、どのような対応をされるのか。

【市-10 提案者】

できれば全額希望だが、減額された場合は保護者会で話し合っ決めて。

【飯野会長】

それではヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-13 平成 29 年度 高土地区高土小学校体育大会事業」について概要説明

【士-13 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-13」について質疑を求める。

【日向委員】

未来づくり懇談会でもこの年に1回の体育祭が地域で一番盛り上がる行事だという意見が多かったので、今回も頑張ってもらいたい。中学生を持つ親として、中学生がボランティアで協力しているのを毎年見ているが、中学生の唯一の競技が得点外なので、得点を入れるようお願いできないか。部活動を休んで参加している生徒もいるので、是非お願いしたい。

【士-13 提案者】

これは5つの集団で行う体育大会だが、少子化で中学生の選手参加人数が少ないと地区もある。一昨年度までは、それぞれの5区の集団で得点を争って競技を行った。中学生からの意見もあり、全体会のところで話をさせていただいたが、全員が競技に参加してスポーツの醸成と団結心を養えばよいということで得点外とし、中学生が全員参加できるように計画している。絶対数が満たなければ、2人や3人と少なくなってくる。まずは、地区の行事に中学生が参加できるように計画をしてくれているので、ご理解をお願いしたい。

【飯野会長】

他にあるか。

(発言なし)

ないので、ヒアリングは終了する。

【飯野会長】

次も同団体のため、説明は省略する。

【田中主事】

- ・「士-14 ニュースポーツ（スマイルゲートボーリング）普及事業」について概要説明

【士-14 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-14」について質疑を求める。

【金子委員】

新しい事業ということだが、購入ではなくリースとは考えなかったのか。

【土-14 提案者】

リースは考えなかった。購入し、地区でいつでも使えるように、地区民に楽しんでもらえるようにということで考えた。備えつけて置ければ、いつでも貸し出しができることを考えている。

【金子委員】

事業の実施方法が、高士まつりと文化祭ということで普及の機会が少ないのだが、それでも購入したほうがよいということか。

【土-14 提案者】

今はその2つだが、まずはそこで普及して大会を開けるように、体育協会で話し合い、冬場を目途に計画をする予定だ。

【金子委員】

以前、キンボールを進めていたと聞いているが、今はもう聞かなくなった。その二の舞になるのではないかと心配している。

【土-14 提案者】

キンボールについては、小学校から借用依頼も来ている。他地区からもご要望があれば、貸出もしている。いろいろな用具がなければ、できないというところもあるので、是非スマイルゲートボーリングを備えつけて、様々なニュースポーツが楽しめるように、また、親睦を深められるようにしたいと思うので、よろしく願いしたい。

【青木副会長】

スマイルゲートボーリングがどの程度普及しているのか、新潟県に広めようとしているのか、上越市に広めようとしているのか、どういうものか分からない。

【土-14 提案者】

キンボールのときも、グラウンドゴルフのときもそうだが、それぞれ体育大会や高士まつり、文化祭の遊びフェスティバルで披露すると、PTAや小学生が非常に楽しむ。また競争心、協議心が向上する。スマイルゲートボーリングはボーリングと同じ様式で、屋内でピン10本に対してボールを投げ、長さ10メートルのところまで投げるものである。年齢によっては距離を短くしてもよい。

【小林委員】

高土まつりのときも、グラウンドゴルフもそうだが、やれば分かると言われるが、グラウンドゴルフを本当にやった人が何人いるのか。それを把握しないで、購入するという事は、これもまた何人がやるのかということである。雄志中学校区の3区だけでやっても、他の人は来ないので、本当にこれが果たして皆さんの手に届くのが不安だ。

【土-14 提案者】

そのようなことはないとは言い切れないが、まずはやる必要があるということ、集まる機会を作るということがまず第一歩だと思う。グラウンドゴルフは3地区で行っているが、行事等の兼ね合いがあれば高土地区独自で開催することも可能だ。キンボールも同じく、いろいろ計画を立てて皆さんが集まれるような場所づくりをしたいと思っている。

【横山委員】

グラウンドゴルフとキンボールはどちらも地域活動支援で購入されたのであれば、金額を教えてください。

【土-14 提案者】

グラウンドゴルフは24万円、キンボールは9万円である。

【横山委員】

今回も約30万円ということで、7セットだが、こういうものが既に所有されているということであり、また、何か新しいスポーツや集まることを目的として考えているのであれば、道具を使わずにやるスポーツを考えるのも1つではないかと思う。過去の話を知っていると、道具を購入せずともできることがあるのではないかと思う。

【土-14 提案者】

おっしゃる通りと思うので、いろいろ計画をして、皆さんに喜んでいただけるものにしていきたいと思う。

【飯野会長】

時間なのでこれでヒアリングは終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

・「士-12 雄志中学校区をセパタクロで活性化させる事業」について概要説明

【士-12 提案者】

・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-12」について質疑を求める。

【飯野正美委員】

地域全体で広めようとしているのか、小学校でのサッカーチームやバレーボールチームの組織のような感じで事業をしたいのか。

【士-12 提案者】

将来的にも上越地域で、諏訪セパタクロクラブや、高士セパタクロクラブのような団体ができればよいと思っている。自分たちのクラブに1つにしてということではなく、多くの人たちが地域別でもできるようなクラブを作っていただければ、地域大会も開催できる。現状では上越では上越セパタクロクラブと上越教育大学しかないなので、大会もできない状況だ。体感していただき、楽しさを分かっていたいただければと思う。

【飯野正美委員】

サッカーよりも難しいと聞いたことがあるがどうか。サッカーもやったことがない子どもたちに教えるのは大変だと思うのだが、どうか。

【士-12 提案者】

当クラブに子どもたちは現在3人いる。雄志中学校の生徒が1人、諏訪小学校から1人、春日地区の高志小学校から1人来ている。サッカー経験のない子どもたちのため、まずはリフティングやボールタッチから始める。セパタクロはボールを落とすはいけない競技であり、ボールを落とさないように、3対3でバドミントンコートにネットを張り行う。最初は蹴鞠^{けまり}のようにボールを落とさないように、何回できるかというところから始める。サッカー経験のある方はセパタクロをやることによって、さらに技術が上がることも考えられる。

【横川委員】

上越セパタクロクラブは雄志中学校区を中心にして広めようとしているのか、上

越市全体を対象にして広めていくのか。

【士-12 提案者】

将来的には上越市全体というふうを考えているが、いきなりそういうことは難しいと思う。私は住まいが諏訪小学校区なので、そういうことも意識して諏訪小学校の体育館を年間借りた。まずは雄志中学校区を中心にセパタクローを活性化させたいと思う。それが上手くいけば、他の区もということになると思うが、まずは地元である、雄志中学校区を考えているので、よろしくお願ひしたい。

【中嶋委員】

事業の内容を見ると、高士、諏訪、津有で計 3 回開催というふうに出ているが、体育館の年間使用料が含まれているのは、支援事業としては適当ではないと思う。講師謝礼等は普及させるに当たっては必要かと思うが、体育館の使用料については違うと思うがどうか。

【士-12 提案者】

そこは私も考えていたのだが、まずは体験をしていただき、実際にセパタクローをやりたい子が現れたとしたら、諏訪小学校を年間使用するというところで、体育館の使用料を含めて提案させていただいた。実際、現在は 1 人月 1,000 円の会費を 13 人で年間集めているので、体育館の使用料は省いても使用料を賄うことはできる。私たちは、当事業は、セパタクローを広めるための講師を呼ぶ費用等やボールの費用を採択いただき、事業が行えたら本望である。

【横川委員】

設立が平成 20 年になっているが、今までセパタクローは聞こえてこなかったが、ここにきてどうして突然動き始めたのか。

【士-12 提案者】

13 年前の 5 月の連休に新潟県セパタクロー選手権というのが、妙高のふれあいパークで行われ、そこで初めて見て、やりたいと思い 1 人で始めた。ずっと同級生や仲間と活動をしていたのだが、クラブを作って大々的に人数を集めて、やるメンバーが増えないと、私自身楽しくないし、どんどん広めていろいろな人が参加してくれれば、大会もできる。設立までに時間がかかったのだが、平成 20 年に規約等も作成し、セパタクロークラブを作らせていただいた。

【飯野会長】

見積もりが地元の業者ではなく埼玉県なのは、地元では扱っていないということか。

【士-12 提案者】

地元のスポーツ店では、セパタクローのボール等は取り寄せることができないとのことだった。埼玉で日本協会の事務局長が、ネットやボール、シューズ等をタイから輸入しており、今のところは、そこから購入するしかない。

【飯野会長】

他になければ終了するが、よいか。

(「はい」の声)

— 提案者退席 —

【飯野会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局から提案の概要を説明した後、提案者から事業の説明を求める。

【田中主事】

- ・「士-6『雪まつり（キャンドルイベント）』開催による地域交流・地域活性化事業」について概要説明

【士-6 提案者】

- ・提案概要について説明

【飯野会長】

「士-6」について質疑を求める。

【建入委員】

この活動が素晴らしい活動に実っていくことを楽しみにさせていただく。だが、地域活動支援事業の配当額の70パーセントの補助希望額は、現実的に難しいと思う。市への働きかけは何かしたのか。

【士-6 提案者】

昨年度も市の観光振興課に働きかけ、中部まちづくりセンターに間に入っていて打ち合わせ等をした。全体で考えるならば、シャトルバスは観光振興課で用意し、PR活動も観光振興課でもっと大きく考えて捉えるべきだと思う。川上善兵衛150周年であれば、もっと力を入れてほしかったという思いもあるので、今後も伝えていきたい。昨年度の話からすると、予算がないとの話だったので、難しいのだと思う。

【建入委員】

働きかけはしているということか。

【士-6 提案者】

とてもしている。岩の原葡萄園さんにもしているのだが、考えがあるようでなかなか協力いただけない部分もある。その中で実行委員ができる限りのことをしているのが現状だ。皆さんの力を借りて、岩の原葡萄園さんへのお願いに、ご協力いただけたらありがたい。昨年度、葡萄色花火を作成し打ち上げたら、感動したと聞き、今年度のキャンドルイベントで花火をお願いしたが、支援は難しいということで、花火の金額も予算にいられてある。

【横川委員】

防寒用具は実行委員用ベンチコートとあるが、何人いるのか。

【士-6 提案者】

8人である。

【横川委員】

8人のベンチコートで40万円は高いと思うが。

【士-6 提案者】

8人のベンチコートと、お手伝いいただく方に善兵衛のプリントをしたインナーを作る予定だ。

【横川委員】

インナーシャツ120枚とあるが、素晴らしい善兵衛をプリントしても、防寒ジャンパー等を着たら、イラストが隠れて意味がないと思うが。

【士-6 提案者】

インナーを着るのは、消防団の方が中心になるが、主に朝から外作業をする方やふるまいのお手伝いをしてくださる方に防寒のひとつとして、120着分申請させていただいた。

【横川委員】

過去に160枚、防寒ジャンパーを申請されていて、減額されたので、枚数も変わったのかもしれないが、これは個人で管理しているのか。

【士-6 提案者】

各消防団で辞めるときには返却するというので、管理している。

【横川委員】

これは雪まつり実行委員会で申請しているのに、消防団で管理しているのはおかしくないか。

【士-6 提案者】

消防団で管理している理由としては、私どもで管理が難しいことと、イベントの際にキャンドルの火の管理を消防団に依頼した関係で、消防団のほうで管理していただいている。

【建入委員】

市からの担当課からの所見一覧で、農村振興課しか意見をいただいているが、観光振興課に話をしたとっているのに、なぜ観光振興課からはないのか。

【田中主事】

所見一覧に記載があるとおおり、事業を進めていくうえで、観光振興課と協議し、「灯の回廊」を上越市全体として進めてもらいたいという回答であり、具体的な話については、これから協議を進める。

【横山委員】

花火に関しては昨年度に比べて金額がアップしているが、150周年ということで問題はないと思う。旗の製作や、蔵コンサートに関しても新たな取組だ。観光振興課との問題もあるが、リース料等は観光振興課で負担できないかと思うが、今すぐには結論は出ないと思う。交通誘導や除雪の作業費も安全圏からも必要かとは思っている。昨年度から引き続きの中で見たときに、キャンドルロードや行燈の製作費が昨年度は5万円くらいだったのに、113万円ということで、カタログがついているが、これを使うから高くなったのか。

【士-6 提案者】

善兵衛ロードといわれている所に、本来全部雪を置きたいのだが、人数にも限りがあるので各町内の方々にもお願いしたいと思っている。雪があればよいのだが、少雪が続いており、また、ペットボトルの作製が多く、そこまで町内の方々にもお願いもできないため、私たちも全部回り切れない部分がある。カップと蓋が結構高くて、金額が上がってしまった。

【横山委員】

手間を考えると大変だと思うが、予算の中で非常に大きい金額を占めている。ただ

買って皆さんにお願いするのではなく、例えば柏崎の谷根の大きなイベントでは、大町内で委員を集めて行っている。この金額を見ると買っているだけではどうかと思うので、案として考えてもらいたい。

また、防寒用具に関しては実行委員 8 人に対し、ベンチコートの見積もりが 20 枚になっているが、どうか。

【土-6 提案者】

実行委員と外のふるまいの人の分も入れてある。

初年度のときに、誰が役員か分からないということで、去年は名札をかけたのだが、それでも分からないという声が多く出た。分かるためにはどうすれば良いのかということで、多くの案がでたが、最終的には冬なのでジャンパーを着て、実行委員だと分かるように後ろに印刷したものを作ろうという案になった。

【横山委員】

私も実際やって大変だったが、ふるまいの人は防寒をすればよくて、共通のものは必要ないのかなと思う。ベンチコートの中にも大きな夜のイベントだと蛍光のキャップを使うところが多いと思う。冬なので、キャップというわけにはいかなかもしいが、相当派手な目立つベンチコートにしないと分からないので、帽子もアイデアの 1 つだ。

インナーに関しても、この金額だと今年度の予算だと厳しいかなと思う。事務費でチラシの作製費の予算の見積もりが出ていないし、高すぎると思う。ネット印刷であれば相当安い金額でできると思う。

【土-6 提案者】

市内で見積もりを取るのので精いっぱいだった。もしかしたら落とせるところがあるかもしれない。

【飯野正美委員】

イベントの中で、ふるまいだけではなく、何か利益を出そうとは考えないのか。

【土-6 提案者】

灯の回廊で他の区では販売しているが、当初の目的が高士を知ってもらうことであり、若い人たちにイベントに出てもらうことや婚活・少子高齢化対策が背景にあった。

今後、私たちは素人なので、今は利益を出そうと思っていないが、事業を続けていくには、収入がなければ当然続かないし、補助金がなければ続かないものだ。その中

でどういうところで収入を得られるのか、婚活パーティーが収入源になるかについても、試行錯誤させていただければと思っている。

【飯野正美委員】

見積もりを見ると何もしなくても、かなり大きな金額が出るということだ。

【士-6 提案者】

前回花火を上げたが、トイレに行っている間に終わってしまったという意見をいただいた。金額が高いものがメインになってきてしまうが、ベンチコート等はだんだんなくなってくると思う。

【飯野会長】

終了予定時刻を超過しているが、このままヒアリングを続けるか、打ち切りにするか、いかがか。

(「続ける」の声)

【小林委員】

シャトルバスはどうしても必要か。

【士-6 提案者】

酒類の試飲があるのに、シャトルバスはないのかという声があった。ワインとお酒の試飲ということで、例年まちづくりセンター、観光振興課、新幹線・交通政策課、にも話しているが、お酒を出す以上、飲酒運転で何かあってはならないため、シャトルバスは必要だ。また、路上駐車対策にも必要だと思っている。

【小林委員】

高士でやっているのは知っているが、どこからどこまでの範囲でイベントをやっているのか分からない。農協の辺りからは光があるが、あとは真っ暗で、実際やっている本部が分からないという意見があった。

【士-6 提案者】

今年度は善兵衛ロードということで繋がっていく予定だ。今までは本当に手作りで、自分たちで時間の無いなか、仕事をしながら地図を作ったり、チラシを作ったりしていた。

今年度はネスパスに行くこともあり、きちんとしたチラシが昨年度より早くできるのと思うので、そういったことは解消できると思う。善兵衛ロードということで、高士が十字で光が繋がればよいと思っている。

【飯野会長】

私から質問だが、先ほども話があったが全体総額の 70 パーセントの見積もりが出ている。補助希望額の中で優先順位を教えてください。

【士-6 提案者】

150 周年で大々的にやるといっている中、皆倒れそうになるくらいでやっている。中途半端に終わらせたくないの、雪行燈の関係は優先したい。アンケートの結果では、何を見てきたかということでチラシが一番だったので、チラシに関しては、きちんとしたものを作りたいと思うので、新聞折り込みも含めて優先したい。どれも大切だが、唯一上げるとしたらアンプ購入費はレンタルで対応できると思う。

今まで、ボランティアでやってきていただいたものを上げている。皆さん手弁当でやっていただいたことなので、ご理解いただきたい。

【飯野会長】

高士区の配当額である 490 万円の中で他団体との競合のことも考えたうえで地域協議会として判断させていただく。優先順位の質問は、すぐに出てこないのかもしれないが、1 割にも満たないアンプ購入費だけではどうかと思う。話をし始めると終わりが無い。

【中嶋委員】

団体の沿革に「地域協議会委員と若い世代の懇談会をきっかけに」と書いてあり、この活動を始めたのは地域協議会ということをお忘れしないでほしい。

【士-6 提案者】

私たちは、補助額の中で自分たちのできることを精いっぱいやっていく。私たちは、どれも必要なもので上げているので、聞かれてもどれも優先としか答えられない。必要か必要でないかを考えるのは地域協議会である。

150 周年のイベントは私たち 8 人でやることではない。にもかかわらず岩の原葡萄園や地域全体でやることを、実行委員でやっていることはお忘れなくてもいいと思う。

【飯野会長】

他になければヒアリングを終了するが、よいか。

(「はい」の声)

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【飯野会長】

遅くまでかかったが、特に最後は感情的になってきた。8人で頑張っていると言っていたが、それ以前に我々のところには声をかけてきていない。高士地区全体で盛り上げたいのであれば、町内会長に話をするとしたって、振興協議会長や町内会長協議会でやらないと、ますます前へ進まないと思う。

本日のヒアリングの内容を参考に、5月24日までに採点票をまちづくりセンターまで提出していただく。今までは、高士地区公民館に提出していたが、どうなのか。

【山田センター長】

期日までに届けていただければ、事務局で取りに来る。

【田中主事】

返信用封筒もあるので、そのままポストに入れていただければ提出が可能だが、方法はそれぞれの委員にお任せする。

【飯野会長】

その他、次回会議の日程確認をする。

- ・ 次回の協議会：6月5日（月）午後6時30分から 高士地区公民館

【田中主事】

- ・ 提案書の提出：5月24日（水）必着

【横山委員】

「士-6」は地域協議会の自主的審議の中から、始まったことである。実行委員の人たちは、どちらかという自分たちでやりたくてやっているわけではない。補助申請額の全てを認めるのは難しい話だが、岩の原葡萄園にも協議会として協力を仰ぐとか、観光振興課にも話をきちんと通すことをしないと、なかなか難しいと思う。私も口だけで時々参加させてもらっただけだが、自主的審議の中で始まってきた、若手を育成して活性化する一環であるということをもっと重視してあげたほうがよいと思う。これを機に、彼女たちはもう二度とやりたくないと思われるようでは、自主的審議でやってきた4年間は意味がなくなる。地域活動支援事業の提案の1つではあるが、他とは違うものとして見てあげないと、実行委員にお任せしっぱなしでは厳しいと思う。

【飯野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

【青木副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。